



こまくさ

平成30年
3月5日(月)
No.51

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

モーグルのワールドカップ、開催できてよかったです。5・6年生の皆さん、ご家庭の皆さんにはご協力いただき、ありがとうございました。

さて、今回は学校評価をお休みして、前号でお知らせしていたように送る会の感想とコンサートの風景をお届けします。感想は、送る側として5年生のT.さん、送られる側として、6年生のI.さん、K.さんの文章です。

送る側として

T.

今日の六年生を送る会が全校のみんなにとって「楽しかった」「思い出に残った」と心に残る会にするために、みんなが協力をして頑張ってきました。私は、垂れ幕の係なので、当日の仕事は特に取りませんが、「六年生にありがとうの気持ちを伝えられるように」と、エールになる言葉をつかって垂れ幕を書かなければいけなくて、少し難しかったです。けれどもみんなが協力してよい文章を考えることができたのでよかったです。また、昨日先生に頼まれて書いた横の垂れ幕は、一日で終わるかなと思っていました。みんなが分担しながら一日で完成させることができましたので、本当によかったですと思います。そして、今日の本番では、先生が「みんなを楽ませて!」と言っていたので、私はどうすればよいのか考えた。とにかく自分も楽しもうと一番最初に思ったので、とにかく楽しみました。「福笑い」「校内ウォークラリー」とともに掃除のみんなが楽しむことが

できました。

校長先生の話で演奏した「いつでも夢を」では、先生方の声が聞こえるように、少し小さめの音でやれたのでよかったです。プレゼントでも、六年生に「かわいい!」と言ってもらえました。やってよかったと心から思いました。

スライドショーではサブライズで六年生をびっくりさせることができました。改めて「六年生を送る会をやってよかったー!」と思いました。全校のみんなが楽しめる六年生を送る会にすることができたので本当によかったです。

送られる側として

I.

六年生を送る会では、五年生のおかげで、楽しむことが出来ました。最初の福笑いは、説明のときに実際にやってみせるのが面白かったです。おでこのところに目が二つあったけれど、説明の仕方はよいと思いました。封筒の中から顔のパーツを出してみると、鼻が一つ、口が一つ、目が二つ、耳が三つで眉毛が一つしかありませんでした。紙を

切って作りました。でも、五年生の一生懸命さが伝わってきたので、僕たちがいなくなっても、任せていけると思いました。

次にやった校内ウォークラリーでは、スタンプを押し、そして、そのスタンプで言葉を作ることはいい考えだと思いました。「サンキュー」となっていました。たぶん、「サンキュー」としたんだなあと思いました。不正解のときに物を投げるといのはとても驚きました。

次の在校生からプレゼントももらったときは、みんなの心がこもっていても嬉しかったです。まだ校内に飾っているので使えませんが、飾り終わったら使いたいです。五年生のプレゼントの袋は、よいアイディアだと思います。

バブリーダンスをしたときは、着替える時間が思ったより少し短く感じました。急に幕が開いてびっくりしました。クリスマスツリーにつけるみたいな飾りを巻ききらないうちに出て行くことになりました。少し焦ってしまっただけで、うまく踊れたし、楽しかったです。

思い出のスライドショーを見たときは、一人一人コメントをもら

っているのがすごいと思いましたが。色々な思い出がよみがえってきて楽しかったです。

送られる側として

K.

六年生を送る会で、僕たちはダンスをやりました。ダンスは、ダンシング・ヒーローです。ダンシング・ヒーローは、ステージの前では高校生バージョンを踊って、下級生と踊るときは荻野目洋子が踊っている方をやりました。

僕は、今まで練習してきたことを出し切って一生懸命頑張りました。練習の時はセンターがすごく恥ずかしいと思っていましたが、本番では自信をもってやって、終わったときにはすごくすっきりしましたし、やり切った感じがしました。そして、僕は衣装がなくて、学校のものを選びました。みんな予想以上に派手なものを着たり身につけたりしていたので、少し恥ずかしかったのもなくなっ、思いつき踊ろうと思いました。

五年生が考えてくれた色々な遊びは、全部楽しくて、班のみんなで協力して遊ぶものが多かったのによいと思いました。福笑いでは、五年生のT.さんが変な指示

をして耳が曲がったり眉毛が変な方向を向いてしまったりして、できあがりはずごく面白い顔になっていました。三年生などに似ていると言われました。色々な人に言われたので、自分でも似ているのかなと思いました。

謎解きウォークラリーでは、知っているゲームのキャラが出てきてびっくりしました。なぞなぞでは、仙北市や生保内小学校に何かがあるものなどを出していて、難しいものもあったけど、みんな協力して解いてくれたのでよかったです。そして、スタンプは全部集めると、サンキューとなっていて、素直に嬉しかったです。

下級生からプレゼントをもらったときは、すごく嬉しくて一人一人のプレゼントから感謝の気持ちが伝わってくる感じがしたし、言葉でも書いてくれていました。

僕が予想していたものより五年生はすごくよい送る会にしてくれたので、びっくりしました。五年生は、送る会の準備を全部自分たちだけでやったそうなので、六年生になったらすごくよい先輩になると思いました。

送る会の日の午後から行ったコンサートは、まず今回のコンサートを企画した経緯をトークショー形式で行いました。明日香さんは、平成25年度の

卒業祝賀コンサート

＝曲目＝

1. うつくしい秋田
2. フローラ達の行進
3. 帰っておいで
4. あんべいいな
(生小バージョン)
5. 赤い春
6. 異端児の城
7. ブルーキョンシー
8. 意味
～アンコール～
9. あんべいいな

10周年記念式典をあんべいいなの替え歌で行いたいという希望を承諾くださり、サプライズでミニコンサートを行っていただきました。しかも無料でした。その後も、チャーハンの冠にあんべいいなを使わせていただいたり、大曲で行ったコンサートに金管バンド部を出演させてくださったりと、とてもよくしていただいております。5月にO.先生来校記念の植樹を行ったときも生演奏をしていただきました。その時は4曲程度だったので、もっといっぱい聴きたいという要望があり、中学校、市民会館と共催で行うことにしました。

曲は全8曲、アンコールを入れて9曲でした。どれもすばらしい曲です。あんべいいな生小バージョンは、参加者みんなで歌いました。異端児の城では、子どもたちから夢を聞いたり、ブルーキョンシーでは、動きを入れたりしながら飽きさせず、子どもにとっても楽しいコンサートになりました。明日香さん、ありがとうございました。

